

井手町 議会だより

第39号

平成24年(2012年)
11月発行

発行 井手町議会
編集 議会広報編集委員会
京都府綴喜郡井手町井手南玉水67
☎ 0774-82-6172 (直通)
<http://www.town.ide.kyoto.jp/>



晴天のもと 今年も盛り上がった文化祭



町民運動会

も く じ

- 9月定例会で決まったこと 2P
- 町政を問う・一般質問 3P
- 委員会報告 11P
- 井手町歴史散歩 12P

9月定例会で 決まったこと

補正総額

約1億円を計上

井手地区共同墓地の崩落防止調査に 500万円
水無区の公民館改修補助に 300万円
戸籍総合システムの導入に 6,000万円

平成24年度 補正予算

一般会計(第2回)

平成24年度一般会計の
補正で補正総額1億44

万7千円の追加、補正後 の一般会計予算は39億 2,021万4千円とな りました。	各種事業の清算による 返還金 962万円
主な歳出	子育て支援特別対策 事業
・水無区公民館改修補助 300万円	56万円
・戸籍総合システム導入 6,000万円	予防接種事業等 183万円
	井手地区共同墓地

崩落防止調査

500万円

・道路維持

150万円

・都市開発基金積立

1,000万円

・消防団員退職報奨金

630万円

・災害復旧事業

250万円

を計上

(賛成全員)

その他の議案

●井手町行政財産
使用料条例制定

行政財産の目的外使用
について使用料の徴収等
を定める条例の制定です。

(賛成全員)

●井手町立吉川道場の
設置及び管理に
関する条例を廃止
する条例制定

老朽化した吉川道場を
解体するための条例の制
定です。

(賛成全員)

●井手町防災会議条
例の一部を
改正する条例

災害対策基本法の改正
に伴う条例の一部改正で
す。

(賛成全員)

●井手町災害対策
本部条例の一部を
改正する条例

災害対策基本法の改正
に伴う条例の一部改正で
す。

(賛成全員)

専決処分報告

●平成24年度井手町
介護保険特別会計
補正予算(第1回)

平成23年度の介護保険
特別会計の清算見込みに
よる所要額の補正です。

(賛成全員)

和解及び

損害賠償額の決定

井手町共同浴場駐車場
で営業中に車止めが収納
されていたため、

相手方運転中の自動車
が衝突し破損したもの
損害賠償額
9万2,500円

(賛成全員)

同意案件

●固定資産評価審査
委員選任

小川 均 氏
昭和24年5月13日生



井手里

(賛成多数)

意見書

発議第7号
オスプレー配備撤回と
飛行訓練の中止を求め
る意見書

(否決)

発議第8号
大飯原発の稼働停止を
求める意見書

(否決)

町政を問う

村田 晨吉 議員

- ◆ 原動機付自転車のナンバープレートの交付簡素化について

森田 泰雄 議員

- ◆ JR奈良線の全線複線化について
- ◆ 多賀白坂地区の開発予定について

西島 寛道 議員

- ◆ いじめ問題について
- ◆ 国際交流・海外派遣事業について

岡田 久雄 議員

- ◆ 本町における行政改革の現状と課題について
- ◆ 児童虐待発生予防対策の推進について

岩田 剛 議員

- ◆ 本町における歴史遺産・文化的遺産の取り扱いについて
- ◆ 消防団協力事業所制度の取り組みについて

木村 武寿 議員

- ◆ 井手町におけるいじめ問題について
- ◆ 建設業務書類の簡素化について

中坊 陽 議員

- ◆ 山背古道について
- ◆ 駅前の整備充実について
- ◆ 白坂開発に伴う古墳調査について
- ◆ 公債法案の影響について

谷田 みさお 議員

- ◆ 豪雨対策について
- ◆ 白坂開発について
- ◆ 学校給食について

原付バイクのナンバープレート交付簡素化を

村田 晨吉 議員



Q エンジンの総排気量125ccを超える車両については、道路運送車両法にのっとり国土交通省管轄のもとで、新規登録・所有者変更登録・廃車登録が行われているが、125cc以下の原付バイク等の取り扱い、市区町村の条例で定められており、その取扱いは様々ではない。

井手町では原付バイクの転入や売買・譲渡による名義の変更は、前所有者の廃車証明書がない限りナンバープレートの交付は受けられない。

他市区町村によっては譲渡証明書だけで交付が受けられるところもある。本町でもこの方式を取り入れることは出来ないのか。

税務
中島課長

町条例の通り行なう

A 軽自動車税は原動機付自転車等に対し、その所有者に課するものであ

り、課税客体を把握し、税の徴収を確保するため標識（ナンバープレー

ト）の交付を行っている。

井手町税条例では、新たに原動機付自転車等の所有者となったものは「標識交付申請書を提出し、かつ当該原動機付自転車の提示もしくは提示に代わると認める書類を提出し、その車体に取り付けるべく標識の交付を受けなければならない。」と定めている。

誤りのない現在の方法で今後も条例通りやっていく。



排気量に応じたナンバープレート



森田 泰雄 議員

JR西日本との合意内容は

Q 井手町住民の悲願でもあるJR奈良線複線化については、沿線5市2町で設置された「JR奈良線複線化協議会」で取り組まれ、JRと合意に至ったと聞いているが、具体的な合意内容は。また今後の取り組みは。

汐見町長

第2期事業は平成25年度から

A 今年一月にJR奈良線の高速化・複線化第2期事業の共同調査実施について、JR西日本、京都府及び沿線市町と合意に至り、本年4月には共同調査の実施にあたっての協定を締結している。共同調査が5月から進む。

今後の取り組みについて

では、まず25年度から事業に着手し、早期に完成させることに全力を尽くす。



複線化の実現が待ち望まれる奈良線

多賀白坂地区の開発時期は

Q 再三質問してきた多賀白坂地区の開発予定については、最近1年ぐら

いの間に放置竹林の伐採が事業者によって進められ喜んでいる。

この地域は都市計画のマスタープランにおいても、産業系市街地開発用地として位置づけられ、雇用対策につながる土地利用促進に期待されている。

る。

課題となっていた樋門の改修も終り、307号線青谷バイパス工事が順調に進めば、井手町の産業基盤と地元の雇用促進に役立つと考える。

青谷バイパスの進捗状況・白坂開発工事の着手時期と企業誘致との関係は。

汐見町長

来年度には着手予定

A 白坂開発は雇用の場の創出、人口の定着、税収の確保につながるものと考えており、一日も早く実現できるよう努力する。

との連絡会議を月に2回定期的に開催している。開発工事については、関係機関の許可後となるが、来年度には着手されるものと考えている。

青谷バイパスの進捗と完成は、南京都病院側道路との接続部および橋梁1基はおおむね完了し、残る1基の橋梁についても本年度から着手し、開発工事の進捗に合わせ全線の早期完成を図ると聞いている。

開発計画の協議については、京都府及び城陽市、企業の誘致については、民間の事業者による開発のため、事業者による工業用地の販売等が行われることになる。早期に雇用の場の創出が図られることが重要であるので、京都府及び城陽市とも連携して企業誘致に協力する。



大きく変貌する白坂地区



西島 寛道 議員

いじめの把握・発見の取組みは

Q 滋賀県大津市での中学男子生徒自殺事件が報道され、大きな波紋が広がっている。

その内容は精神的・肉

体的にダメージを受けるような悪質なもので、陰湿化、長期化する特徴がある。

本町では学校での「スクールカウンセラー」や「心の居場所サポーター事業」などが実施されている。また、地域においても「子ども見守り隊」や「総合型地域スポーツクラブ」などが積極的に活動し、まち全体で子供を育てる環境が整っている。



本町内3校でのいじめ

について実態把握や早期発見、解決に学校はどのような取組みをしているのか。

本町の学校や教育委員会、大津市の事件報道以降保護者の不安解消のために何を実施したのか。

学校教育
小川課長

教育相談やアンケート調査で把握

A いじめの防止には早期発見、早期対応が重要

であり、日常の生活から子どもの変化を鋭敏に察知し、教育相談やアンケートを通じていじめの兆候を見逃さないようにしている。

いじめが発生した場合、保護者と連携し、関係の児童・生徒に対応するよう指導している。

また、友人関係が良好な関係に戻るまで粘り強く取り組むことも重視している。

今のところ、深刻で継

続のないいじめの報告はない。

教育委員会では事件の報道後に緊急校長会を開催した。

保護者や地域から情報を広く収集し、児童・生徒の実態を詳細に把握するとともに、協力関係を築くよう指示をした。

府教育委員会の保護者向け啓発リーフレットや児童・生徒向けのクリアファイルを配布した。

また、いじめに特化したアンケートを9月中旬に実施する。

国際交流・海外派遣事業の進捗状況は

Q 本町の学校教育では質の高い学力育成を目指

した町内3校のジョイントアップ事業や英検・漢検・数検に挑戦する生徒を支援するチャレンジ学

習など学力向上に向けた取組みが行われている。

さらに平成25年度から泉ヶ丘中学校では国際交流・海外派遣事業が開始される。

学校教育
小川課長

現地姉妹校と盟約を締結

A 国際交流・海外派遣

事業の相手校は、オーストラリアのメイトランド市にある学校であり、同校と姉妹校盟約を結んだ。

8月初旬に泉ヶ丘中学校校長をはじめ3名が現地訪問し、調印式及び下見を実施した。

相手校で日本語を学んでいる約90人の生徒より本校の生徒への手紙が託され、現在返事を書かせ

ている。

派遣生徒の選出方法は12月ごろから希望生徒を募り、1月から2月にかけてレポートや面接で選考する。3月に10名程度を内定し、8月に第1弾を派遣する。生徒は1人でホームステイする。

パスポート取得など個人の負担すべき経費以外は、保護者負担が伴わないようにしたい。



オーストラリアの姉妹校にて



岡田 久雄 議員

本町における行政改革の 現状と課題について

Q 昭和60年に「井手町行政改革懇談会」及び「井手町行政改革推進本部」が設置されているが次の4点について問う。

本部」の開催回数と主な検討事項・協議内容は

- ① 今日までの行政改革における経費削減の主な取組内容と評価
- ② 過去3年間の「井手町行政改革懇談会」及び「井手町行政改革推進
- ③ 町内業者育成のための購入計画と役場・学校・保育園の事務用品、物品の一括購入による経費節減策の現状は
- ④ 今後民間委託を検討している事業は

総務
西島理事

行革は国・地方を通じての重要課題

A ①平成18年3月に第3次行政改革大綱を決定。給料制度の是正、町長等

の調整手当の廃止、課の統合などにより管理職は42名から22名に、職員数

も161名から現在は109名にした。常に効率的な財政運営に努めている。

② 現在行政改革大綱に基づき計画以上に進捗しているので「懇談会」は開催していない。

③ 少量な事務用品は所属

課が町内業者から購入。コピー用紙は平成21年度から入札により一括購入を実施。

④ 民間委託は、既に行政全般にわたって検討しているが、現在のところは考えていない。

こんにちは赤ちゃん事業は

Q 児童虐待による痛ましい事件が連日のように報道されている。

児童虐待は、発見や対応が遅れるほど親と子どもとの両方に対する手厚い支援が必要であり、早期発見、早期対応の体制を強化することが必要不可欠である。

厚生労働省の「こんにちは赤ちゃん事業」と「育児支援家庭訪問事業」について問う。

①「こんにちは赤ちゃん事業」「育児支援家庭訪問事業」の主な概要と、本町の所管課は



- ② この事業の府下市町村の取組状況、本町の取組及び4ヶ月検診の受診状況は
- ③ 府下の過去3年間の年度別児童虐待の相談件数及び虐待による死亡例は

保険センター
奥山所長

本格的に取り組んでいる

A ①「こんにちは赤ちゃん事業」は乳児家庭の孤立化を防ぎ健全な育成環境を図る事業である。

「育児支援家庭訪問事業」は、支援を必要とする家庭を訪問し、必要な支援を行う事業である。

「育児支援家庭訪問事業」は、府下18市町村が取り組んでいる。

②「こんにちは赤ちゃん事業」は、府内26市町村のうち21市町村が取り組み、本町も取り組んでいる。



地域の宝 子どもを大切に!

いずみ
人権交流センター
山口所長

死亡事例はない

A ③府下の児童虐待件数

平成21年度は422件
平成22年度は528件

平成23年度は619件であるが、死亡事例はない。



岩田 剛 議員

町内観光地の周辺整備と受入れ体制は

Q 観光入込客50万人を目指すには、観光施設の充実には欠かせない。

府の指定登録文化財は

12件あるにも拘らず、町の指定文化財は3件のみである。

町内の文化遺産・ハイキングコース・道路等の整備計画は。

また、観光客に対する役場窓口での受入れ体制はどのようになっているのか。

観光客に対する地元産品の販売は商業活性化のため必要である。その開発と販売体制は。

また商工会との連携はどうなっているのか。

社会教育
木村課長

重複指定はさける

A 府の条例では、府の文化財の指定を受けたものを重ねて市や町が指定することは避けることと

されているため、府の指定を受けた文化財については町は指定していない。

建設
中村理事

道路整備は計画的に実施

A 本年度より計画的に歴史と自然が香る道づくり事業に取り組むこととしており、本年度は六角井戸周辺の整備を予定している。

また、ハイキングコース・文化財周辺道路は、通常の町道管理と同じく、豪雨などで傷んだ際は補修している。



訪問者が絶えない橋諸兄公旧跡

産業環境
藤崎課長

行政と商工会が連携して取組む

A 役場窓口に観光パンフレットを置いて案内している。

窓口で対応できない場合は、産業環境課・教育委員会に対応している。

また、職員にはまちづくりセンター椿坂や万灯呂山展望台などを紹介するとともに、観光パンフレットを使った研修を実施

総務
西島理事

今は、考えていない

A 幸い本町では、消防団幹部の努力や住民のご協力により、消防団員が定数どおりの250人を確保できている。

また、現在のところ町

内の事業所の協力によって、消防団活動に支障がでないことから、今のところ協力事業所制度導入は考えていない。

消防団協力事業所表示制度の導入は

Q 全国的に消防団員の確保が非常に難しい状況になっている中、団員が活動しやすい環境を整える

ためにも、消防団協力事業所表示制度の導入を考えると本町の考えは。

施している。
今後、各施設までの距離と方向を示した案内図を作成し、窓口配置していきたい。

水駅前休憩所「さくら」などを中心にお土産品を販売している。
行政側としては、商工会主催の事業に協力するとともに、商工会は町主催の桜まつりや町文化協会主催の文化祭等に協力をいただいており、今後ともさまざまな機会連携していきたい。



木村 武 壽 議員

本町におけるいじめ問題は

Q 最近どの新聞やテレビ放送を見ていると大津市で起きたいじめによる自殺問題が大きく取り上げられている。

いじめの原因の本質は、いじめという現象の前になすすべもなく立ちすくむ日本社会の姿、教育現場では管理職や教育委員会、保護者、生徒との板挟みになる教員が、慢性的な過重労働や管理強化の中で、生徒間の問題に効果的に対処出来ない現実があると思われる。

井手町においても陰湿とまではいかないが、新聞等のまねごとをして喜んでいいる子どもがいると



聞いているが、気のついたれかが傷の浅いうちに芽を摘みとることができたら悲惨な事件は起こらないと考えられる。現在の町内3校の状況を問う。

また子どもは勉強が全てではないが、井手っ子は今回の学力テストに参加したのか、実力の方はどうだったのか、これらの指導方法を問う。

学校教育
小川課長

危機意識を持ち取り組む

A 大津市で起きた自殺事件を背景に、どの学校でもどの子どもにも起こりうるものであるという危機意識をもって取り組んでいる。

井手小 多賀小 泉ヶ丘中学校が参加し、学力の状況はおおむね全国並みである。

本町の3校でも、からかいや仲間外し、度を過ぎたいたずらなどがあるが、事実を正確に把握して保護者とも連携した指導を進めているので、今のところ継続的で深刻ないじめはない。

全国学力・学習状況は、



建設業務書類の簡素化を

Q 府建設交通部では、公共工事コスト縮減対策、新行動計画に引き続き、平成23年6月に公共事業効率の実施プログラム(案)を策定した。

性があることから、同プログラムでは、スピード、コスト、品質の三つの観点から公共事業の進め方を改善することにより、良質な社会資本を効率的に整備・維持し、府民満足 の最大化を目指して総

建設
中村理事

府の基準に準拠

A 工事などの管理基準は、基本的に府の基準に準拠しており、町独自では定めていない。ただし、工事ごとに規定する事項については、特記仕様書に定めている。準拠している府の制度や規則が変更となった場合は、改正の通知があり次第対応している。

合理的なコスト構造改善に取り組むこととしている。が、本町独自の制度や規則があるのか。



小規模工事でもおびただしい数の書類が…



中坊 陽 議員

山背古道の整備を

Q 山背古道推進協議会が城陽市・木津川市・井手町で結成され、数多くのイベント開催で、山背古道は多くのハイカーで賑わっており、地域活性化に活かされている。

全行程の距離と本町内における距離は。また年間の利用者数は。町内における古道の一部で危険な場所があり、早急な改善が望まれるが今後の整備予定は。

全行程の距離と本町内における距離は。また年間の利用者数は。町内における古道の一部で危険

学校教育
小川課長

危機意識を持ち取り組む

A 平成23年度のウォーキング参加者は1101名。古道の全行程は25キロ、本町内の距離は5キロ。

今後の整備は、道路状況を確認し必要に応じ対応していく。

玉水駅前に時計を

Q JR玉水駅前を整備し、住民や入込客の増加に努めて頂きたい。また防犯面や住民・入込み客へのサービス向上のため駅前に時計の設置をしてはどうか。

建設
中村理事

駅前や駅舎の整備に合わせ検討

A JR玉水駅前の整備駅舎の整備に合わせ検討する。

白坂地区の古墳調査での町民の雇用は

Q 白坂地区開発に伴う古墳調査で本町の住民の雇用はあるのか。

古墳調査の結果と雇用対策は。



茶臼塚古墳現地説明会

教育
社会課長
木村

開発業者が調査会社に委託

A 白坂地区の開発区域 内には茶臼塚・上戸塚古

墳、東北山遺跡・上り坂古墳群の四か所の古墳、遺跡がある。

古墳調査の事業主体は井手町教育委員会と城陽市教育委員会である。具体的な発掘調査の作業は両委員会が合同で管理監督し、開発業者から委託を受けた発掘専門の調査会社が実施。

町内在住の作業員は雇用されていない。

茶臼塚古墳は発掘をほぼ完了、上戸塚古墳は試掘したが、場所を特定できなかった。

遺跡は広範囲に及ぶため、今後の開発の進捗に合わせ調査を実施する。

公債発行特例法案の影響は

Q 国会空転の影響で赤字国債発行に必要な公債発行特例法案の審議が進んでいない。

この公債法案が不採決の場合に本町の財政に与える影響は。またその場合の対策は。

財政
企画課長
協本

今年度の財政運営に影響はない

A 今年度の本町の普通交付税は4月分、6月分は既に交付済みであり、9月分は既に交付決定済である。

11月分については未定であるが、交付時期が遅れても年内の財政運営には何ら支障はない。





谷田 操 議員

河川の緊急点検を

Q 8月14日町内で時間雨量97ミリの豪雨を記録した。

かす

②本町の天井川の緊急点検を実施

宇治市などでも河川の決壊や土砂崩れが発生した。

そこで次の4点について

緊急に実施すべきと思うが本町の考えは。

①町内の被害状況を細かく調査し防災計画に活

③町内の河川・農業用水路・下排水路・道路脇などの土砂やごみの浚渫

④河川上流部、山間地の雨量を測定できる仕組みをつくる。

総務 西島理事

府が2度緊急点検を実施

A ①本町では以前から豪雨後に現地調査や聞き取りを行い、被害状況の把握に努めてきた。また、

必要なものについては既に対処してきた。

建設 中村理事

A ②本町の天井川は府の管理河川であり、先日の豪雨以降に府が2度にわたり緊急点検を実施した。

③水路などは職員による点検・パトロールを实

工業団地としての将来性は

Q 白坂地区の開発計画で本町の考えを問う。

川の改修計画は。

①住民説明会は町内全域を対象にすべきではないか。

②水計画は今回のような豪雨を想定したものになっているのか。

③多賀地区側の調整池からの排水は乗越川に流される計画だが、乗越

施し必要に応じて対応している。

総務 西島理事

A ④本町には平成8年3月に雨量計が設置済みであり府では新たな雨量計の設置は考えていない。

④発計画が認可される前に、樹木の伐採が始まっているが行政指導で

は。

⑤工業団地としての将来性が見込めるのか。

インフラや周辺整備に多額の公費がつき込まれることになるが。

建設 中村理事

企業立地には大変有利

A ①白坂開発計画は、井手町と城陽市にまたがる開発であり、城陽市と協議の上、都市計画変更

を行う区域に隣接する区や自治会を対象に説明会を実施した。

②排水計画は府の基準に

より計画されている。

雨水は調整池で溜め計画的に決まった量を乗越川に流す。今回の豪雨でも適切に処理できる構造となっている。

③開発に伴う乗越川の改修は考えていない。

④樹木の伐採は、法令上の手続を行った上で実

施する。現在は埋蔵文化財の発掘調査中である。

⑤京阪神の各都市との間で交通の便が良い。企業の立地には有利な条件を有している。

インフラや周辺整備に多額の公費をつぎ込む予定はない。

夏休み明けの給食は

Q 2学期の始業から31日までの5日間、学校給食は実施されなかった。中学校では、午後も学校で活動する生徒が多い。始業が早まれば給食も早

めるべきではないか。教育委員会ではどういう検討をしたのか。保護者の受け止めは 子供たちの反応は。

学校給食センター 田村所長

保護者には説明済み

A 夏休みから2学期へのスムーズな移行を図るため、8月中は午前中のみ授業とし給食は9月からとした。

学期の開始日を知らせている。

児童・生徒・保護者から特段の声は届いておらず、理解いただいている

保護者には学校便りや給食献立表を配布し、2

と思っている

総務文教

常任委員会報告

委員長 丸山 久志

議案第27号「井手町行政財産使用料条例制定の件」について9月20日に委員会を招集いたしました。

委員全員出席のもと、町長並びに関係者の出席を求め、慎重かつ熱心に審査が行われました。

質疑のうち主なもの
・条例制定の主旨は
・使用料の年間収入見込額は
・減免規定の具体的内容は
・電柱や水道管、役場の敷地内にある郵便ポストや公衆電話についても徴収するのか
・使用料徴収期間が1年となっているが、長期にわたることが想定されているのか
・職員の駐車場使用料

はどのように考えているのか
その他に土地や建物について区分の違いや面積の定めなど、この条例の全般にわたる質疑が熱心に行われました。

次に、討論はなく採決を行い議案第27号

「井手町行政財産使用料条例制定の件」は全会一致で原案のとおり可決されました。



産業厚生

常任委員会報告

委員長 木田 鈴美

本委員会は、障がい福祉二一スに対応できる利用しやすい施設環境の整備や保健・医療・福祉サービスの充実を図ることを目的に、閉会中の調査研究として8月27日に招集しました。

・近隣市町村との比較
・障がい者の雇用状況
・福祉サービスの相談窓口などについての質疑がありました。

行政より井手町障がい者基本計画及び第3期障がい者福祉計画の説明を受け現在の
・障がい者手帳所持者数
・障がいの種別
・障がい者年齢別人数
・障がい者等級別人数
の状況など、また介助者の利用状況をそれぞれの資料をもとに説明を受けました。

本日の委員会を通じて障がいに対する正しい知識を持ち、それを支援していくことが大変重要だと感じました。
障がい者の方々が安心して 井手町に住んでいてよかったと安心できる環境づくりを目標し、今後とも議会と行政が一体となってさらなる支援の充実を図っていききたいと思えます。

次に質疑に移り各委員から

・障がい者手帳所持者数
・療育手帳（重度・軽度）所持者数



平成24年度

市町村1期目議員

研修会報告

村田 農 吉議員

去る8月24日に平成24年度「1期目議員研修会」がルビノ京都堀川で開催され、池田議会事務局長・岡田議長・村田農吉議員の3名がこの研修会に参加しました。

二番目は、「議会運営について」と題して、全国市議会議長会法制参事の廣瀬和彦氏の講演でしたが、スライドを使いながらユーモアも交えた大変分かりやすい講演でした。

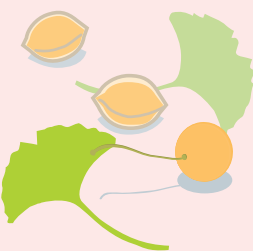
研修内容は、1期目議員として当然知らなければならぬことや、今後の議会運営が円滑にいくために開催されたものです。

何れの講演も、その内容は議員としての使命感を新たにするものでした。

研修の内容は、一

番目に、「議会の使命と議員の職責」と題し

て、新潟県立大学国際地域学部准教授田口一博先生の講演で、各県の議会の運営方式の良い点や悪い点を交えながら、分かり易い講演でした。





— 井手町にあったお城 —

井手城

町づくりセンター椿坂の玄関に立つと、玉川の流れを山裾にして、標高254.8mの山が目前に迫る。この山は東にある山吹山から尾根づたいに繋がる小字株山の西端の峰になっている。

日本城郭大系 第11巻 によると、井手の地は古代から幹線道の大和街道に沿っており、711年(和銅4年)に都亭駅が設置された山本集落(京田辺市山本)とは木津川を挟んだ位置にあって、古代から南山城地域における交通の要衝であった。

井手城は玉川の谷口の南岸にある小字株山の山頂にあったとされる。

株山の山頂からは、西方の木津川沿岸の平地と山城盆地を囲む山々が一望のもとに見渡せる。東側は急斜面をなし、南・北側も崖で城を築くには格好の地である。

「山城綴喜郡誌」によると、松山氏累世の城郭を構えた城」とある。

1485年(文明17年)の畠山義就と畠山政長との戦いを記した「大乘院社寺雑事記」に義就方の城として「井手の別所氏の城」の名がみえ、山城国一揆の中心になった「国中三十六人衆」のなかにも井手別所氏が加わっていた可能性がある。

1568年(永禄11年)織田軍により落城するとされている。

なお、当城は城郭というより陣屋に類するものと考えられる。

株山山頂には、平坦な場所が3〜4ヶ所あり、苔むした石が5〜6個並んだところがある。また、山吹山から続く尾根を城を防御するために、大きく堀切がされている所がある。その堀切は玉川右岸の道路からも見る事が出来る。

多賀城

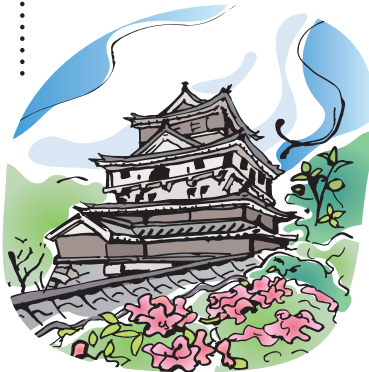
多賀城は、「山城綴喜郡誌」によると「多賀村地内東北にあり。古来城址と称す。伝云多賀源左衛門」の城なり。南へ距る12町(約1,300メートル)の所に井あり、これを殿井と云う。城中の井ならんか。常に清水淡々として湧出す。而して後にこの源左衛門なるもの、筑前国に移りしと云。年代詳ならず。」とあり、また「京都府地誌(多賀村誌)」は「多賀城ところは村の東北にあり。山城志云在二多賀村一深津蔵人之に拠ると。遺跡今考へからず」と記している。

しかし、多賀郷内には残念ながら城の遺構は何も残っていないが、「山城綴喜郡誌」にある「多賀村地内東北」にあたる地には、旧田原道に沿って西白坂・北白坂・奥白坂という小字名が残っている。

また、この白坂の地から100メートル南方に馬場崎という小字があるが、この付近を地元では、馬場町と呼び、多賀城跡という説もある。

さらに、ここから南へ100メートルの東南組という小字には「殿ノ井」と呼ばれている直径2メートルもの大きな井戸があり、現在も良質の水が湧き出しており、「郡誌」にある井戸として保存されている。

以上から推して、多賀城の城域は旧多賀村東北部の小字白坂付近から南へ、馬場崎を経て小字東南組の殿ノ井の湧水地付近に至るまでの範囲と推定され、多賀源左衛門の居館が置かれていたものと思われる。



— 井手町ガイドボランティアの会 —

編集後記

いやー今年の残暑も厳しかったですね、山を染めていた真っ赤な美しい紅葉も散り、柿やみかんが色を染め始めると冬はもうそこまで来ています。皆さんお元気で過ごさうでしたらしようか。

この「議会だより」を多くの方々に読んで頂きたいと思い、色々工夫を凝らしているところですが、理想と現実にはかけ離れているかも知れませんが、前任者の苦労が分かります。

長期の天気予報では今年はずっと暖冬と言っているようですが、お体には充分ご自愛のうえお過ごし下さいませ。

(S・M)



里いもの花 写真提供 松田常一氏

議会広報編集委員

委員長	委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員
木村 武	岩村 剛	村田 吉	岡田 久	森田 雄	丸山 志	丸山 志